

サシバの里いちかいゼロカーボンタウン宣言

地球の温暖化による気候変動の影響は、世界規模に及び、日本各地において毎年のように深刻な自然災害を発生させています。人類を含む多様な生き物の生存基盤が、刻一刻と浸食されていると言っても過言ではありません。

このため、緩和策と適応策を着実に実行に移すことが求められています。地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出量を抑制するため、2015年採択のパリ協定では、産業革命前と比較して1.5℃上昇を努力目標に設定しましたが、2018年に国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が特別報告を発表したのを契機に、世界は2030年までに2010年比で45%排出削減、さらに2050年には実質ゼロにする必要があるとの認識を共有することとなりました。これを受けて、世界各国の先進都市が次々にカーボンニュートラル実現に取り組むようになり、ゼロカーボンシティを表明する動きが広がっております。

市貝町では、サシバをシンボルとした生態系と生物多様性を保全し、美しい景観の形成と、潤いのある人間関係の回復を目指すサシバの里づくり構想の実現に取り組んでいます。この構築は、パリ協定では直接的に取り組っていない環境や、社会課題をカバーするものですが、気候変動対応はこの根幹をなす喫緊の課題であると認識しています。

市貝町は、この青く輝くかけがえのない地球を後世につなぐとともに、当町の未来の町民が豊かに安心して暮らせるよう、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、省・創エネルギーへの転換、脱炭素産業の創出、炭素を吸収する里山の復権に全力で取り組むことを宣言します。

令和 4 年 6 月 15 日

市貝町長

入野 正明